

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200457
法人名	医療法人誠井会
事業所名	グループホーム福寿荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目28番16-1 (電話) 0995-73-5758
自己評価作成日	平成27年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな住宅街に母体医療機関、同法人のグループホーム・デイサービスセンターが近接、同建物内1階は小規模多機能ホームもあり、緊急時の対応など相互に連携・協力して行う体制が整っています。
食事提供では、昼食・夕食(給食作成専用業者)の提供で朝食のみ職員が作っており、その為対応にゆとりが持て、入居者様とのコミュニケーション・活動提供に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2階建ての1階が小規模多機能ホームで、2階が当事業所になっている。近隣には同法人のグループホームやデイサービス、母体医療機関があり、定期的な往診や緊急時の対応などの医療体制が整っている。
- ・年2回消防署立会いのもと、昼夜想定で、同法人5事業所の合同訓練を行っている。防災委員会があり防災マニュアルが作成されている。自主訓練も年3回、地域の住民も参加して行っている。各事業所間や地域連携もできている。災害時は3日分の備蓄がある。避難場所も決め非常口には避難袋も設置されている。
- ・身体拘束廃止委員会で2ヶ月に1回勉強会を行い、言葉による拘束も含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は昼間は施錠せずに、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りの協力もある。
- ・地域行事の夏祭りやグランドゴルフの準備段階から参加している。中・高校生の職場体験学習やボランティア受け入れ・保育所との交流等、地域とふれあう機会が多い。さらに霧島市認定の「まちかど相談所」を設置し、認知症の相談を受け、助言するなど日常的に地域と交流している。
- ・管理者は職員育成に力を入れて、各種研修等への出席も奨励して職員の働く意欲を引き出している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関・ホール内・職員トイレに掲げ、朝の挨拶時に唱和し、理念の意義の理解に努めている。	法人の介護部門の理念と運営方針を掲げそれに沿った年間目標を設定している。玄関や事業所内に掲示しネームプレートの裏にも記載している。朝の唱和や会議での振り返りを行い、研修などの機会に意識づけし、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の時節行事への準備など可能な限り参加している。職場体験学習やボランティアの受け入れもあり、散歩や買い物の際にも地域の方々と挨拶や会話を交え、積極的な交流を図っています。	地域行事の夏祭りやグランドゴルフの準備段階から参加している。小規模多機能ホームとの合同行事にも地域の人が参加している。中・高校生の職場体験学習やボランティア受け入れ・保育所との交流等、地域とふれあう機会が多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の時節行事等、参加の時に地域の方々が認知症とは…支援方法は…等を尋ねられるようになり伝達できるようになった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は同一法人のグループホーム、併設の小規模多機能ホーム等と合同で2か月に1回開催し、各事業所の活動や利用状況を報告し、意見や感想・提案を頂き地域との交流やサービス向上に努めています。	当会議は定期的開催している。利用者の状況報告や行事予定・外部評価の報告等がなされ、参加者から多くの助言や提案が出され、会議での情報を職員で共有してサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域密着型サービス事業者連合会、地域包括ケア・ライフサポート会議に参加し、他事業所での活動例などの情報を頂き、施設での活動へと取り組むように努めています。	市担当者とは電話や窓口に出向き利用者の相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、市主催の地域密着型サービス事業者連合会等にも参加して情報の交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を通じて定期的な研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会で2ヶ月に1回勉強会を行い、言葉による拘束も含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は昼間は施錠せずに、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りの協力もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止委員会を通じて定期的な研修も行き、職員の行動が虐待に繋がらないかお互いに注意し合っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>業務改善、カンファレンス時、資料を基に学ぶことができた。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約、改定等の際は、十分な説明を行い、分からない所や不安な所は尋ねやすい雰囲気を作り、十二分に理解・納得を得るように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見・要望はその都度傾聴し、管理者・職員で討議している。 またご家族様に対しましても入口に意見箱を設置し、面会時家族会などでも要望等伺い改善に努めています。</p>	<p>利用者からは、日々の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、面会や家族会・運営推進会議などで話しやすい雰囲気を作り意見を聞きライフサポートプラン等に記録して、運営に反映させている。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送り、毎月の業務改善の話し合い等で意見・提案を聞き、日常的に声掛けし話しやすい雰囲気づくりに努めており、得られた意見や提案を反映出来る様対応しています。</p>	<p>管理者は日常的に意見が出やすいような環境を作り、相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。日々の申し送りやミーティング・業務改善会・定例会で意見を聞いている。意見や提案は資格取得や環境改善・ケアの向上に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の資格取得への目標や努力を把握し、職場環境や条件の改良に努め、向上心を持って働ける様努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の育成が質の高いケアに繋がる事を理解し、内部研修・外部研修への参加、伝達講習もを行い、職員間での情報や知識が共有出来る様努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型サービス事業連合会を通じ、ライフサポートワーク等の研修に参加しネットワーク作りが出来ている。今後も可能な限り同業者と交流する機会を増やし、サービスの質の向上を目指します。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前、本人・ご家族と面談を行い、それぞれの不安や悩み、心境を傾聴し、初期の信頼関係を築ける様努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の抱える悩み・不安を話す事の出来る様、傾聴・共感に努め可能な限り話し合う機会を設け、環境作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前より、本人・ご家族との十分な面談を行い、医療機関、他施設等との情報収集を踏まえ「その時」何を必要とされているか見極め、福祉用具などの利用・検討も行っています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>様々な活動、対応・コミュニケーションの中で本人の人となり、その人らしさを大切に、また、人生の先輩としての発語を大切に、学び、暮らしを共にする者同士として支え合いを心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の月便り、家族が面会で来られた際など、ご本人の生活状況など情報提供を行っている。ご本人と家族との関係性を崩さないよう、その時、その場面に応じた対応を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の夏祭り、敬老会、グランドゴルフや買い物などへの同行、電話や手紙の取次ぎ、来所される入居者様の知人、友人、ご家族とゆったり過ごせるよう支援に努めています。	入所時に本人や家族から聞き取りをして、家族や友人・知人の訪問を奨励している。手紙の手伝いや電話の取次ぎなども行っている。地域行事の敬老会や夏祭り・グランドゴルフなどに参加したり、美容院や墓参り・買い物等は家族の協力をもらいながら、馴染みの関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格、気質、感情の変化を把握、理解した上で、他者と関わる際の話作りや環境作りに努め、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	これまでの関係性を大切にし、必要に応じてご家族様の相談や支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中でコミュニケーションを大切にして、言葉や表情などから利用者の思いや希望、意向を把握するように努めています。また、職員間の情報の共有を図り、ご家族の協力も仰ぎながら利用者本人の支援になるよう努めている。	個々の利用者の言葉やしぐさ・表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、家族からも情報を得、記録帳類を活用したりして、職員間で話しあい、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時の聞き取り情報やご家族様より情報収集を実施、又、随時ご家族様・ご本人より話を聞き情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様とコミュニケーションを図る中で言葉や表情などから本人の心身状態、生活習慣、出来る事など把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族も参加した担当者会議で話し合い、主治医・看護師を含む関係者の意見も反映し、分かりやすい介護計画を作成している。ケアの経過や入居者の日々の様子、発言などを介護記録等で共有しカンファレンスで職員の気づきも収集し、計画の見直し・修正を行っている。	担当者会議で主治医や看護師の意見を基に、本人や家族・職員が参加して介護計画を作成している。介護記録等から毎月モニタリングを実施し、見直しは3ヶ月に1回または必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人の日々の様子や行動、発言等を介護記録に残し、随時話し合いを行い、また、カンファレンスで意見収集し情報の共有を図るとともに介護計画の見直しに反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて関連事業所の併設事業所との連携にて柔軟な支援やサービスの多機能化においての情報交換に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	霧島市地域密着型サービス事業所連合会運営推進会議（地域の住民の方々）等の情報を収集し、時節行事での地域住民の協力、ボランティアの訪問をして頂き、また、消防署員立会いの下、消防訓練を定期的に行い安全で豊かな暮らしができるよう支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけ医の確認や連絡体制の確保、緊急時の搬送や対応についても医療機関との連携を図っている。又、受診は主に職員が同伴し、看護師を中心に家族や医師との意見交換を行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関からの月2回の訪問診療や歯科往診もある。受診は主に看護師が同伴し、結果は家族と共有している。緊急時は24時間医療連携体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の看護記録書の経過を把握し入居者様の変化に気づいたら看護師を中心とし適切な対応・受診ができるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は情報提供を速やかに行い、入院先の医療機関と密に連絡を取り、情報交換に努めています。また、定期的に挨拶に伺い関係作りを行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>「看取りに関する指針」により重度化や、終末期のケアについて説明を行い同意書を取り交わしています。 看護師を中心にマニュアルの活用で職員のスキルアップを図りながら、利用者・家族の希望に沿った環境が提供できるように努めています。</p>	<p>契約時に「看取りに関する指針」を説明し、重度化や終末期に伴う対応について同意書を貰っている。職員は関連の研修会に参加している。状況の変化に伴い主治医の診断を踏まえ、状況を伝え、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員全員に応急手当や事故発生時の対応については講習、リーフレットにより緊急時に迅速な対応ができるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>同法人5事業所での合同防災委員会を開催し、関連する研修の充実や災害時の連絡体制や避難経路、場所等の確認を行っている。また、運営推進会議、地域のひろばで地域の方々の参加を呼びかけるとともに自主訓練、消防署との連携による避難、通報・消火訓練も実施しています。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定で、同法人5事業所の合同訓練を行っている。防災委員会があり防災マニュアルが作成されている。自主訓練も年3回、地域の住民も参加して行っている。各事業所間や地域連携もできている。災害時はラーメンや米・水・カレー・クッキー・乾パン等の3日分の備蓄がある。避難場所も決めている。非常口には避難袋も設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、日常のケアに際して、尊厳やプライドを損ねるような対応や言葉かけを行わないように、研修や勉強会、日々のミーティング等を通じて方法を共有し支援に取り組んでいます。	利用者の尊重・尊厳を重視し、それらを損なわないように言葉かけや対応を心がけている。研修やミーティング・勉強会に取り組み、その人に合わせた対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを通して本人の思いをくみ取り、自己決定が出来るような声掛けや必要時には選択できるような声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務中心にならないよう、レクリエーション等も強制することなく、入居者様の気分やペースに応じ、日々の暮らしが本人の希望に沿えるような支援を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に理髪の理美容等着て頂いている。また、毎朝の更衣についても選択して頂き、整髪・髭剃り・洗顔等の声掛け、援助を行い身だしなみ・おしゃれ等支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを把握し可能な限り献立への反映に努め、調理は主として委託であるが、個々に合わせて食べやすいように加工している。また、利用者も準備や後片付けなど、個々に応じた役割が担えるよう支援に努めています。	朝食だけ職員が手作りで、昼・夕食は委託である。嗜好調査をして利用者の好みを把握し献立に反映している。個々の食事形態に合わせて手を加えている。行事食やおやつ作り・誕生会の外食・なべ料理・郷土料理と工夫している。可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にしたりもしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を記録するとともに、摂取量の少ない方へ必要に応じてご本人様が好まれるものを提供出来る様務めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施、入居者様の状態に応じて出来る限り自ら行って頂いています。ご自分で困難な入居者様へは介助にて口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を下に、日々のケアを通して個々のパターンを把握し、本人の自尊心にも配慮しながらトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っています。	生活習慣を把握し、自尊心に配慮しながら、声かけや誘導によるトイレでの排泄を支援している。排泄用品も本人に合わせて対応し、オムツを減らす取り組みで排泄の自立を支援している。カンファレンスで話し合いプランに組み込んで自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日便が出ていない日をカウントし、状態把握を行っている。便秘予防としても水分摂取、運動・体操の実施も行っています。また、医師から内服薬の処方をして頂き、対応を行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の体調や希望に配慮し、拒否がみられる方には無理強いせず入居者様の状態に合わせて対応しています。一人ずつの入浴で個別支援を実施しています。	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に合わせて柔軟に対応している。看護師が観察し、シャワー浴や清拭・足浴と本人と話しながら支援している。入浴剤やゆず湯など工夫している。毎日でも希望があれば入浴可能である。入浴を拒む利用者には無理強いせず、足浴や清拭・声かけなど職員で連携して状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝食・昼食後は、個々に合わせた声掛けをし、居室のベッドで休んで頂いたり、団らんスペースでのソファで寛いで頂いています。又、就寝時には本人様が安心して休めるような声掛けを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師にて毎回の受診時の処方内容を把握し他職員へも説明を行い周知に努めています。変更の有無の確認も行っており、又、服薬も一人ひとり記名の確認後個別薬箱へ配薬しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴を把握し、その方の嗜好や趣味に合わせたレクリエーションの時間を設けるように努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な外出は難しいが、ご家族様に協力頂き、戸外に出かけられるよう努めています。入居者様の意向や希望に合わせて施設側で対応できる可能な範囲での外出散歩を行っています。	日常的には、体調や天候を見ながら近隣の散歩や買い物・テラスに出て日光浴・菜園の手入れなどして戸外にでかけられるように対応している。計画を立てて花見や地域の行事・弁当持参での外出もしている。地域のボランティアや家族の協力で外出や外食・外泊・墓参などの支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者1名の方がお金を所持されており、外出の際は使える様声掛けしていますが、買い物に至っておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	時節の挨拶状等は自筆にて取り組みしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけ、手作りの作品、行事等の写真を飾っている。 入居者様が思い思いの場所で過ごせるようにテーブルやソファも配置し、温度・湿度等も不快感や刺激が無いように努めています。	リビングは広くて明るく換気や採光に配慮し温度や湿度も管理され清潔である。季節を感じる花を飾り手作りの作品が掲示してある。行事の時の写真等が貼られ楽しい空間である。ソファも多く、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとり、その時に応じた座席を配慮し、話を好まれる方々、テレビを好まれる方々等、思い思いに楽しく過ごして頂く様配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ってきて頂き設置し、使い慣れた毛布・枕、また、造花や写真を飾る等して居心地よく過ごせるよう努めています。</p>	<p>居室は十分な広さがあり明るく清潔である。電動ベッドやロッカー・エアコン・タンスが備え付けである。本人や家族と相談しながら、寝具や家具・写真・飾り物・身の回りの物等を持ち込み、安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室、トイレ、お風呂場の表示など、入居者様が分かりやすく、また、ホール内は手すりなど設置してあり、安全な環境作りに努め自立した生活が送れる様促しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない